

令和4年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立体育会館	指定管理者：シンコースポーツ・NTTグループ	指定期間：令和3年4月1日～令和13年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
---------------	------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>①施設の設置目的に沿った運営</p> <p>②提案した管理運営方針に沿った管理</p> <p>③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み</p>	A	<p>①体育及びスポーツの振興や文化的な集会及び催物の場を意識した日程調整を行い、施設の設置目的に沿った運営ができている。</p> <p>②賑わいを意識した利用団体（音楽イベント）を誘致するほか、大型のデジタルサイネージを設置するなど、地域の賑わいの創出に寄与した。</p> <p>③ごみの分別や省エネなどの環境保全活動に取り組むとともに、個人情報保護に関する研修など各種研修について、提案どおり実施できている。</p>	A		A
	(2) 平等な利用を図るための具体的な手法・効果	<p>①公平なサービス提供、対応状況</p> <p>②高齢者、障がい者等に対する配慮</p> <p>③感染拡大防止対策の徹底</p>	A	<p>①ホームページやSNSを活用し、施設情報の速やかな周知ができている。予約対応は、マニュアルのもと、高い水準で行えている。また、複数職員による予約状況確認を徹底することにより、トラブル防止が図られている。</p> <p>②案内掲示物の文字の拡大化や盲動鈴を設置し、障がい者団体の減免措置を行い、高齢者や障がい者が利用しやすい施設として、利用促進が図られている。</p> <p>③従業員及び利用者向けの感染拡大防止対策が徹底されている。</p>	A		A
	(3) 利用者の増加を図るための具体的な手法・効果	<p>①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み</p> <p>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和3年度実績： 306,884人 令和4年度目標： 860,000人 9月末現在実績： 197,828人</p>	<p>①国際大会、全国大会規模の催物を誘致し賑わいの創出を図りました。全日本フルコンタクト空手道選手権大会（6月）、音楽イベント（7月）、吉本興業スポーツフェスティバル（7月）、ボールルームダンス（9月）、バドミントン国際親善レディース（10月）、JOCバレーボール大会（12月） （評価点：2点）</p> <p>②SNSの活用・大阪市バスの広告枠のポスター掲載・区の広報誌掲載・季刊紙の発行・デジタルサイネージ運用・MICE用のパンフレットを関係各社に郵送。 （評価点：3点）</p>	B	<p>①新型コロナウイルスの影響がある中、令和4年度は昨年度を上回る445,000名を見込んでいる。また、国際大会や全国大会規模の催物やスポーツイベント以外の音楽イベントも開催し、にぎわいを創出している。有観客イベントでの入場者数の制限などの影響で目標には届かないものの、施設の稼働率は上がっており、一定の成果をあげている。</p> <p>②SNSやデジタルサイネージを活用するなど情報発信の取組を積極的に行った。</p>	A	

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価						
			S～C		S～C		S～C						
I 提案の履行状況に関する項目	(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み	A	①創立70周年記念として季刊誌の作成及び記念大会の誘致を行い、利用者サービスの向上に寄与した。 ②かけっこ教室、吉本ワークショップ、ベビーヨガといったライフステージに応じた新規事業を展開し、新たな利用者の獲得につなげた。 ③施設設備の日常点検の実施を行い、不具合箇所などを事前に確認し、不具合により使用できない状況に陥らない等に防止できている。	A		A						
		②自主事業の取組み											
		③施設設備、機能の活用											
(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理 ②施設設備の安全管理 ③緊急時の危機管理体制	①業者による保守点検実施。不具合箇所が判明すれば随時修繕実施。休館日を活用し、効率的な保守点検の日程調整を組んでいる。（評価点：3点） ②チェックリストを作成し利用後の施設点検、備品点検を実施。月に1度スタッフによる備品点検実施。年に1度業者による点検を実施。（評価点：3点） ③危機管理マニュアルを作成し緊急時にも対応出来るように備えている。防災グッズ備蓄（非常用飲料水、携帯用トイレ、ヘルメット、非常食）（評価点：3点）	A	①中長期的な計画に基づいた予防保全・修繕を実施することにより、故障を未然に防ぐことができている。 ②チェックリストを作成し利用後の施設点検、備品点検を実施。月に1度スタッフによる備品点検実施。年に1度業者による点検を実施。 ③危機管理マニュアルを作成し緊急時にも対応出来るように備えている。防災グッズ備蓄（非常用飲料水、携帯用トイレ、ヘルメット、非常食）	A		A						
								(6)収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	B	①広告収入により、収入確保策の取組みが実施できている。 ②引き続き、収入確保につなげていくよう取組みを進める必要がある。	B	B
									②提案どおり実施されているか。				
その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み ②行政の福祉化の取組み ③市民・NPOとの協働の取組み ④環境問題への取組み	A	①Osaka Free WiFiの整備 「第2次大阪府スポーツ推進計画」に賛同しライフステージに応じたスポーツ教室を開催。 ・「大阪府男女共同参画プラン」に賛同し副総括責任者として女性を登用しております。（評価点：3点） ②・知的障がい者の雇用（事務員1名） ・障がい者雇用率：シンコースポーツ㈱ 3.37% ・C-STEP加入済み ・障がい者サポートカンパニー登録済み ③町内会と協働で地域の美化活動を予定したが中止となった為未実施。（評価点：3点） ④つくる責任 つかう責任 ・リサイクル用紙使用。裏紙を使用しごみの発生を削減。 働きがいの経済成長も ・イベント終了後の清掃を外注し雇用を創出。 ・日常清掃を障がい者雇用団体に外注している。（評価点：3点）	B	①大阪観光局等が推進するOsaka Free WiFiの整備を行い、利用者のサービス向上に寄与している。また、府男女共同参画プランに基づき、女性登用ができている。 ②障がい者雇用の取組みとして、提案どおり知的障がい者の雇用率が達成できている。 ③新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、美化活動が中止となり、その他活動の予定もなく、取組みが進んでいない。 ④SDGs 17の目標のうち、8の「働きがいの経済成長」と11の「つくる責任 つかう責任」に関する取組みも行った。		B					
									I 総括	7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価	
			S~C		S~C		S~C	
II さらならサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①教室受講者にアンケート実施。（8月実施） 2月に利用団体に向けた満足度調査を実施予定 （評価点：3点） ②昨年の調査結果を受けてトイレの改修工事について計画中。 （評価点：3点）	A	①良好な結果であり、利用者満足度の向上に寄与している。 ②調査結果を受けて改善に着手している。	A	A	
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 【指標1】自主事業参加者数 R3実績：2,586人、上半期実績：1,164人 R4目標：3,100人、上半期実績：2,126人 【指標2】自主事業収入状況 R3実績：3,956,736円 上半期実績：1,770,196円 R4目標：6,200,000円 上半期実績：3,277,880円	①柔道教室、かけっこ教室、吉本ワークショップ、ベビーヨガといったライフステージに応じた新規自主事業を展開。 （評価点：3点）	A	①新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、ニーズに応じた自主事業を行うことで、目標が達成できる見込みである。	A	A	
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	①吉本興業と協力し「サバンナ八木のギャグでトレーニング」を開催。吉本興業主催YOSHIMOTO SPORTS FESTIVALに協賛として参加。姿勢分析コーナーを実施。地域の企業と提携イベント主催者にお弁当や宿泊先の提案をするなど包括的なコンシェルジュとしてイベントをサポートしております。 （評価点 3点）	A	①地域の企業と提携イベント主催者に対して、多角的な提案やサポートを行っている。	A	A	
	II 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）		A
III 適正な管理及び業 務の遂行に 関する 事項 が できる 能力	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 【指標】R4収支計算書（プロポーザル） 収入：431,200千円、見込み：396,855千円 支出：431,200千円、見込み：415,462千円 納付金：150,000千円、見込み：150,000千円	① 事業収支及び見込み 《令和4年度：対プロポーザル比》 収入： 92.0% 支出： 96.3% 納付金： 100% （評価点 2点）	B	①新型コロナウイルスの影響による収入の減少と、光熱水費の高騰により支出の増加の中でも、大きな計画との差異がない。	B	B	
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制	①統括責任者1名、事業運営3名、営業開発1名、清掃1名、設備（外部）1名、清掃（外部）5名、警備（外部）2名 時期により変動あり。 （評価点：3点） ②統括責任者が施設に常駐し業務全体を把握し、事業運営、維持管理、清掃、広報、警備、経理部門の各部門の業務調整を行っている。また副責任者を置くことで責任者不在時でも対応できるようバックアップ体制をとっている。 （評価点：3点） ③個人情報保護研修 4月 ・部下育成トレーニング（eラーニング）5月 ・コミュニケーション講座（eラーニング）6月 ・BLS（一次救命処置）CPR・AEDの手技について（eラーニング・実技）7月 （評価点：3点）	A	①適切な管理体制・配置をとることにより、円滑な管理運営を実現できている。 ②管理体制が整っており、各部門ごとに担当者を置くことで、全体的な業務推進がなされている。 ③AED等の実技研修やeラーニングの実施により、職員の資質向上が図られている。	A	A	
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況	①代表企業、構成企業含め、財務状況は良好であり経営基盤は健全です。 ②コロナ禍により少なからぬ景況を受けましたが、構成企業含め黒字決算で終えています。	A	①②構成企業の運営基盤は、概ね安定していると認められる。	A	A	
	III 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）		A
年度評価					B	年度評価		B